

広報・教育部門

応募事例名

鉄道蓋デザインマンホールで官民連携。
官も民も人もWinWinWin！

応募団体名)吹田市

応募事例の概要

- 鉄道柄のマンホール蓋を市内16駅に作成・設置(H30～R4)
- デジタルスタンプラリーを実施(R5)

応募事例の内容

市内を走る鉄道 6 社と協力して
16 駅分の鉄道柄のデザイン蓋を作成。



吹田市
×
鉄道会社

阪急電鉄・大阪モノレール・JR 西日本・
JR 貨物・OsakaMetro・北大阪急行電鉄

マンホール好き
+
鉄道ファンに
訴求

PR Point 6 か年かけ継続的に新作の話題・情報を発信。
費用面でも年間出費を抑えられる。

企画・撮影・デザインは
すべて市職員が担当。



＜企画案の例＞
すいたんの位置で
製作弾数が
わかるように
しよう！

PR Point 職員の広報力 UP。
費用面でも出費を抑えられる。

職員がさまざまなイベントに
参加して下水道を PR。



PR Point 職員の広報力 UP。

**6 年目
ついに
完成** 完成記念デジタルスタンプラリーで注目度 UP！



スタンプラリー
所要時間
公共交通機関 8 時間
自転車 8 時間

鉄道会社各社が
告知・
ノベルティに
協力

景品交換所では
企画展を実施。
さらに PR
関係者からの
裏話を添え
興味を UP！



PR Point デジタルなので
・人手は景品交換所のみ
・参加者は好きな時間に自
分のペースで参加可能

・費用はノベルティ代のみ
・公共交通機関利用者増
・運動で健康促進
・まちの魅力再発見でにぎわいに

下水道事業 70 周年 (2035 年) を目指して
さらなる今後の展開も！



PR Point ノウハウを得て新たなシリーズが始動。
他部との連携強化。

写真を担当した職員

PRポイント

普段目にする下水道施設であるデザインマンホール蓋の企画を継続
的に行うことで、市民への下水道の見える化を図る。

企画・撮影を職員がほぼすべてを担当することで、費用を抑えつつ、
職員の広報力もUPできる。



下水道部 主任
榎原

どの駅の撮影でも撮影場所の選定には苦労しました。
駅の特徴的な風景と車両・すいたんを入れる構図は
撮影の重要なポイントとなるため、入念にロケハンを
行い決めています。